



IASB Update は、国際会計基準審議会（IASB）の予備的決定を示している。これらの決定の影響を受けるプロジェクトは、[作業計画](#)で見ることができる。IFRS®会計基準、修正、IFRIC®解釈指針に関する IASB の最終的な決定は、IFRS 財団の[デュー・プロセス・ハンドブック](#)に示されているとおり正式に書面投票が行われる。

[IASB は 2026 年 1 月 27 日から 28 日に会議を行った。](#)

関連情報：

- IASB Update 原文は[こちら](#)
- IASB ボード会議の要約のオーディオ（ポッドキャスト）は[こちら](#)

目次

リサーチ及び基準設定

- [IFRS 第 16 号「リース」の適用後レビュー（アジェンダ・ペーパー7）](#)
- [無形資産（アジェンダ・ペーパー17）](#)
- [キャッシュ・フロー計算書及び関連事項（アジェンダ・ペーパー20）](#)

維持管理及び一貫した適用

- [一貫した適用についての活動](#)
- [IFRS 第 18 号に係るアジェンダ決定の更新（アジェンダ・ペーパー12A）](#)
- [組み込まれた早期償還オプション（IFRS 第 9 号）（アジェンダ・ペーパー12B）](#)
- [取引コストの決定及び会計処理（IFRS 第 9 号）（アジェンダ・ペーパー22C）](#)
- [IFRIC Update 2025 年 11 月（アジェンダ・ペーパー22D）](#)

リサーチ及び基準設定

IFRS 第 16 号「リース」の適用後レビュー（アジェンダ・ペーパー7）

IASB は 2026 年 1 月 28 日に会合し、次のことについて議論した。

- 情報要請「IFRS 第 16 号『リース』の適用後レビュー」に対するフィードバックの要約
- 本プロジェクトの次のフェーズについての計画

IASB は何も決定を求められなかった。

次のステップ

IASB は情報要請に対するフィードバックについて引き続き議論し、2026 年第 3 四半期に決定を最終確定する予定である。この適用後レビューの終了時に、IASB は発見事項及び今後のステップを要約したプロジェクト報告書及びフィードバック・ステートメントを公表する。IASB はプロジェクト報告書及びフィードバック・ステートメントを 2026 年末までに公表する予定である。

無形資産（アジェンダ・ペーパー17）

IASB は、2026 年 1 月 27 日に会合し、次のことについて議論した。

- a. 「無形資産」の定義及び無形資産についての認識の要求事項のいくつかの側面の変更の可能性を探究するワークストリームのためのテストケースの選択

- b. 選択したテストケースについてさらに探究すべき原則及びトピックの識別

IASB は何も決定を求められなかった。

次のステップ

IASB は、利用者の情報ニーズを探究するワークストリームに関する発見事項について議論する。

キャッシュ・フロー計算書及び関連事項（アジェンダ・ペーパー20）

IASB は、2026 年 1 月 27 日に会合し、本プロジェクトをリサーチ・プログラムから基準設定の作業計画に移すことについて議論した。

IASB は次のことを決定した。

- a. 本プロジェクトを基準設定の作業計画に追加し、それに関して IASB が後で公表する可能性のある協議文書は公開草案となる。
- b. 本プロジェクトのための協議グループは設置しない。

13 名の IASB メンバー全員がこの決定に賛成した。

次のステップ

IASB は本プロジェクトの範囲に含まれる論点について審議を継続する。

維持管理及び一貫した適用

一貫した適用についての活動

IASB は、2026 年 1 月 27 日に会合し、2025 年 11 月の IFRS 解釈指針委員会（委員会）で議論された事項について検討した。IASB は次のことを行った。

- a. 6 件のアジェンダ決定を更新する委員会の決定及び 2 件のアジェンダ決定を撤回する提案について検討した（アジェンダ・ペーパー12A）。
- b. 2 件のアジェンダ決定を最終確定する委員会の決定について検討した（アジェンダ・ペーパー12B-12C）。
- c. その他の事項についてのアップデートを受けた（アジェンダ・ペーパー12D）。

IFRS 第 18 号に係るアジェンダ決定の更新（アジェンダ・ペーパー12A）

IASB は、アジェンダ決定「負の利回りの金融商品について生じた収益及び費用—包括利益計算書における表示（IAS 第 39 号「金融商品：認識及び測定」及び IAS 第 1 号「財務諸表の表示）」を撤回するという委員会の提案に同意するかどうかを質問された。

13 名の IASB メンバー全員がこの決定に賛成した。

IASB は、アジェンダ決定「サプライチェーン・ファイナンス契約—リバース・ファクタリング」を撤回するという委員会の提案に同意するかどうかを質問された。

IASB は、決定を今後の会議まで延ばすことを決定した。また、IASB は、当該アジェンダ決定の撤回の提案から生じる可能性のある具体的な会計上の事項を識別するために、的を絞ったアウトリーチを実施することも決定した。

13 名の IASB メンバーのうち 12 名がこれらの決定に賛成した。

IASB は、以下のアジェンダ決定の更新に反対するかどうかを質問された。

- a. 「報告セグメントに係る収益及び費用の開示」(IFRS 第 8 号「事業セグメント」)
- b. 「第三者との契約から生じた用途制限のある要求払預金」(IAS 第 7 号「キャッシュ・フロー計算書」)
- c. 「生物資産への取得後の支出」(IAS 第 41 号「農業」)
- d. 「財務活動から生じた負債の変動の開示」(IAS 第 7 号)
- e. 「非金融商品項目の購入又は売却契約の現物決済」(IFRS 第 9 号「金融商品」)
- f. 「正常営業循環期間」(IAS 第 1 号)

これらのアジェンダ決定の更新に反対した IASB メンバーはいなかった。

次のステップ

IASB は、アジェンダ決定「サプライチェーン・ファイナンス契約—リバース・ファクタリング」を撤回するという委員会の提案及び的を絞ったアウトリーチからの発見事項について、今後の会議で検討する。更新されたアジェンダ決定は 2026 年 1 月に [IFRIC Update 2025 年 11 月](#) ([日本語訳](#)) への補遺において公表される。

組み込まれた早期償還オプション (IFRS 第 9 号) (アジェンダ・ペーパー-12B)

IASB はアジェンダ決定「組み込まれた早期償還オプション」(IFRS 第 9 号) に反対するかどうかを質問された。

当該アジェンダ決定に反対した IASB メンバーはいなかった。

次のステップ

当該アジェンダ決定は 2026 年 1 月に [IFRIC Update 2025 年 11 月](#) ([日本語訳](#)) への補遺において公表される。

取引コストの決定及び会計処理 (IFRS 第 9 号) (アジェンダ・ペーパー-22C)

IASB はアジェンダ決定「取引コストの決定及び会計処理」(IFRS 第 9 号) に反対するかどうかを質問された。

当該アジェンダ決定に反対した IASB メンバーはいなかった。

次のステップ

当該アジェンダ決定は 2026 年 1 月に [IFRIC Update 2025 年 11 月](#) ([日本語訳](#)) への補遺において公表される。

IFRIC Update 2025 年 11 月 (アジェンダ・ペーパー-22D)

IASB は委員会の 2025 年 11 月会議についてのアップデートを受けた。この会議の詳細は [IFRIC Update 2025 年 11 月](#) において公表された。